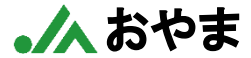


報道関係 各位



害虫を虫で撃退！ナス生産者が天敵を活用

土着天敵活用を取り入れ労力・農薬の削減へ

JA おやま なす部会が推奨

JA おやまでナスを生産する農家で構成する JA おやま なす部会は、土着天敵を活用した害虫管理を推奨しています。

今年は早い梅雨明け、少ない降水により害虫の発生が心配されますが、同部会では害虫を虫で撃退する方法を取り入れ、農薬散布の回数を減らし、生産者の労力削減、消費者にとっての安心・安全を確保しています。

土着天敵活用とは

ほ場へ、マリーゴールドやバジル、ソルゴー、オクラ等を植え、ナスをはじめ多様な品目で問題となっているアブラムシ、アザミウマ、コナジラミの天敵にあたる「ヒメハナカメムシ」や「タバコカスミガメ」をおびき寄せます。天敵に影響の少ない農薬を選択し、使用を抑え、土着天敵が定着・増殖させます。

ほ場に害虫の天敵を定着させることで、虫による害虫駆除が可能となる、農薬散布の回数も減らせる害虫防除技術です。



花々を植えることでは場も綺麗に

ご多忙とは存じますが、是非ご取材賜り、広くお知らせいただきますよう、ご案内申し上げます。

概要

日時：2018年8月10日（金）10：30～11：00

場所：鈴木隆部会長ほ場

※車で誘導いたしますのでJAおやま野木支店（野木町中谷523-1）へ10：20に集合してください。

参加者：・JAおやま なす部会 鈴木隆部会長（インタビュー可）・JAおやま 日向野陽介（なす部会担当職員）

本件に関するお問い合わせ先

JAおやま 企画課 広報担当 湯本 TEL：0285-25-3372 Email：pia@ja-oyama.or.jp